



おおや



4月号 R8.4.8

学校教育目標「心豊かでたくましい子の育成」

発行責任者
校長 湯本 貴幸

上尾市立大谷小学校 上尾市大字大谷本郷 528 電話 048(781)0120

令和8年度 スタートいたします

春のやわらかな日差しに包まれ、心弾む季節となりました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご進級・ご入学、誠にありがとうございます。

このたびの人事異動により、田崎 守 校長の後任として、ふじみ野市の学校より着任いたしました校長の湯本 貴幸(ゆもと たかゆき)と申します。伝統ある大谷小学校に着任できた喜びとともに、その責任の重さを日々実感しているところです。どうぞよろしく願いいたします。

さて、令和8年度がスタートいたしました。本年度は、児童数555名、特別支援学級5学級を含む全23学級で教育活動を開始いたします。本校のスローガンである「一人一人が輝き、しんか(進化・深化・新化)する大谷小学校」を継承し、その“しんか”を「進化(レベルアップ)」「深化(本質の追求)」「新化(挑戦の継続)」と捉え、教職員一丸となって、子供たち一人一人に真心を込めた、心に届く教育を推進してまいります。

さらに、本市の取組である小中一貫教育を推進し、9年間を見通した教育の充実を図るとともに、コミュニティ・スクールとして地域の皆様のお力添えをいただきながら、地域に愛される学校づくりを進めてまいります。

保護者並びに地域の皆様におかれましては、本校の教育活動に対し、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度コミュニティ・スクール
DYA GRAND DESIGN 上尾市立大谷小学校
学校教育目標
心豊かでたくましい子

知 自ら学び 自ら考える子 徳 豊かな感性をもち 思いやりのある子 体 健康で根気強く やりぬく子

一人一人が輝き しんかする大谷小学校

ビジョン チーム大谷小として、児童一人一人に「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を育み、信頼され愛される学校

目指す児童像	目指す学校像	目指す教師像
<ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え、主体的に取り組む児童生徒(知) ○自己を律し他人を思いやれる児童生徒(徳) ○心身ともに健康でたくましい児童生徒(体) ※大谷地区5校で同一のもの(令和7年度～) 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童一人一人を伸ばす学校 ○教職員が働きがいのある学校 ○地域とともに歩んでいく学校 ○安心・安全で強いのある学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○わかる授業を行い、児童のよさを伸ばす教師 ○児童の心に寄り添い、児童を大切にす教師 ○温かさとしんかのバランス感覚のある教師 ○謙虚に自己研鑽を続け、高い倫理観をもつ教師

本年度の重点

<p>【学力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「主体的・対話的で深い学び」で不断の授業改善 ○学習内容の定着の確実な見届け ○各種学力調査を活用したPDCAサイクルの確立 ○デジタルとアナログのベストミックス 	<p>【教師力の向上と組織力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○互いに高め合える校内研修・学校課題研究の推進 ○「報告・連絡・相談・確認」の徹底 ○共通理解・共通指導と組織を生かした対応の徹底 ○働きやすい、働きがいのある職場づくり 	<p>【学校課題研究への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え、主体的に取り組む児童生徒の育成～「学力向上」のために各校の実態に即した学習指導を通して～ ○南中学校区での小中一貫教育の実践
<p>【コミュニティ・スクール大谷小の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知・徳・体のバランスがとれたアクションプラン ○絆を深め、地域との連携強化 ○熱議を通じた学校運営への参加 	<p>【小中一貫教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全点検・安全指導(まさかではなくもしかして!意識) ○美しい黒板・窓・ロッカー、整理整頓された教室 ○児童の活躍がみえる掲示や環境づくり 	<p>【多様なニーズに対応した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育相談体制の強化(サテライト、SSR) ○居心地のよい教室、学級づくり ○ニーズに応じた関係機関との連携

キーワードは3つの「しんか」

大谷小マスコット おーちゃん

進化 EVOLUTION 深化 DEEPENING 新化 INNOVATION